

● 土木学会論文報告集編集方針 (1982年4月1日) ●

土木学会論文集編集委員会は、下記のような方針で『土木学会論文報告集』を編集します。ご投稿いただく場合には、この編集方針を十分ご理解のうえ、別に定める「土木学会論文報告集投稿要項」、「土木学会論文報告集投稿の手引」によって原稿を作成して下さい。

編集方針

- (1) わが国の土木工学の学問・技術の中心的な発表機関として機能する論文報告集とすることを旨とする。このため独創的で水準が高く、学問・技術の進歩にとって有用な論文・報告を掲載していく。
- (2) 会員の幅広い要望に応え、広汎な支持を受ける論文報告集とすることを旨とする。このため学術研究論文ばかりではなく、実用性の面で土木技術に寄与する論文・報告をも歓迎する。
- (3) わが国における土木工学の研究・技術の成果を広く海外にも知らせることのできる、国際的な論文報告集とすることを旨とする。このため英文論文の投稿を歓迎する。
- (4) 招待論文制度を設け、高い水準にある学術研究やその動向、最先端の土木技術を体系立ててわかりやすく紹介し、会員の活動に寄与していく。

● 討議について ●

この論文報告集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は昭和58年1月20日とする。/All communications and discussion (open until January 20, 1983) relating to the papers included in the Proceedings should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

土木学会論文集編集委員 (◎印主査 ○印幹事)

委員長	小林 一 輔	副委員長	首藤 伸 夫	幹事長	森 地 茂		
委員	阿部 忠 行	委員	緒方 信 英	委員	桜井 孝 信	委員	林 正 一
〃	赤石 勝 蔵	〃	金井 道 夫	〃	佐藤 忠 信	〃	樋上 琇 寛
〃	芦沢 哲 蔵	〃	神山 眞 二	〃	佐藤 泰 生	〃	福田 均 均
〃	足立 紀 尚	〃	川上 英 二	〃	椎葉 充 晴	〃	古田 陳 紀
〃	飯島 尚 尚	〃	川口 直 能	〃	嶋田 正 大	〃	増田 茂 樹
〃	池田 駿 介	〃	河島 正 治	〃	◎首藤 伸 夫	〃	松浦 康 訓
〃	◎池田 尚 治	〃	北田 俊 行	〃	白須 憲 吾	〃	〇三木 千 寿
〃	石井 武 美	〃	清宮 理 哲	〃	砂田 憲 吾	〃	◎明神 和 証
〃	〇石川 忠 晴	〃	楠田 哲 也	〃	〇関 口 秀 博	〃	◎明神 和 証
〃	石川 信 隆	〃	久保田 信 雄	〃	関 口 秀 博	〃	村 上 和 治
〃	石橋 忠 良	〃	黒田 勝 彦	〃	谷 口 健 男	〃	村 山 八 洲
〃	今本 博 健	〃	◎河野 伊 一郎	〃	田 村 幸 久	〃	村 山 八 洲
〃	岩井 勝 彦	〃	古財 武 久	〃	〇徳江 俊 秀	〃	安 田 進 一
〃	〇岩崎 征 人	〃	小葉竹 重 機	〃	富 田 六 郎	〃	山 形 耕 一
〃	上 牛 尾 俊 介	〃	◎小林 晋 爾	〃	中 村 豊 夫	〃	山 田 健 太 郎
〃	梅本 和 薫	〃	小林 晋 爾	〃	長 井 正 嗣	〃	山 本 幸 司
〃	江 大 垣 真 一 郎	〃	小 森 和 男	〃	野 池 達 也	〃	山 本 泰 彦
〃	大 太 田 俊 昭	〃	小 柳 武 和	〃	長谷川 和 義	〃	吉 田 照 彦
〃	岡 本 厚	〃	後 藤 芳 顕	〃	長谷川 元 信	〃	依 田 照 彦
		〃	芥 藤 親 次	〃	長谷部 正 彦	〃	渡 辺 晃
		〃	阪 田 憲 次	〃	早 川 典 生		

土木学会論文報告集 No. 323

定価 1250 円

昭和57年7月15日 印刷

昭和57年7月20日 発行

発行者 東京都新宿区四谷1丁目無番地

社団法人 土木学会 専務理事 川越達雄

発行所 社団法人 土木学会 郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目無番地 振替東京6-16828番

電話 (03) 355-3441

印刷所：技報堂，表紙デザイン：中井一郎